

アンチエイジング



鈴木 芳郎 Suzuki Yoshiro 医師 公益社団法人日本美容医療協会 副理事長

アンチエイジングとは老化に抗^{あらが}うということを意味しますが、美容医療の中にはこのような役割を果たす施術がたくさん存在しています。その中には、老化による機能低下を改善するもの(眼瞼下垂^{がんけん}修正術など)もありますが、多くは見た目の老化現象を改善させて若かった頃の状態を取り戻す治療です。

例えば、人の顔は老化によってたるみが出てきたり、シワが目立ってきたり、シミができてきたりするわけですが、これらを改善する目的で行われる、たるみ取り治療、シワ取り治療、シミ取り治療などが美容医療によるアンチエイジング治療といえます。

代表的な治療を紹介しながら、それらの治療を受ける際の注意点などにも触れていきたいと思えます。

フェイスリフト手術

まず顔のたるみ治療として代表的なものに、フェイスリフト手術というものがあります。文字どおりフェイス(顔)をリフトする(引き上げる)手術です。顔や首の皮膚のたるみを改善するアンチエイジング治療の1つで、100年以上も前から行われてきたとされています。年齢とともに、皮膚の弾力が失われ、シワやたるみが現れるので、これらを軽減することを目的として行われています。

●施術方法

耳のまわりを切開して余分な皮膚を取り除き、残る皮膚を引き上げて再配置することを基本にしますが、そのやり方にはさまざまな方法

があります。それぞれのやり方によって結果としての若返り効果に差が出ますが、一般的には顔のたるみが軽減され、より引き締まり、若々しい外見を取り戻すことができます。

●注意点、リスク

顔の皮膚を切って行う手術ですので、術後には当然、傷跡が残ります。ほとんど目立たないような状態にはなりますが、体質によって、あるいは切開の場所、縫合の仕方によってもその結果に差が出ることはあります。

さらに、手術後は痛みと腫れなどが一定期間続き、いわゆる、ダウンタイム(回復までの期間)がある程度必要ということになります。また、まれにはありますが、術後に一時的な顔面神経の麻痺^{まひ}症状を発症する人もいます。

糸リフト手術

——糸による引き上げ法

糸リフト(スレッドリフト)手術は、フェイスリフト手術の1つですが、比較的簡単に受けられ、ダウンタイムも短く、それなりに顔のたるみ改善ができるアンチエイジング治療の1つとして近年注目されています。

●施術方法

切開を行わずに特殊な糸を皮膚の下の適切な位置に挿入し、引っ掛かりを利用して引き上げることで、顔や首のたるみを効果的にリフトアップすることができます。処置時間も短く、1時間程度で終了することが多いです。従来のフェイスリフト手術に比べて短時間ででき、ダウンタイムが短く、傷跡がほとんど残らないことな

どがメリットとして挙げられます。

●注意点、リスク

比較的簡単にできる手術であり、重大な副作用は少ないですが、糸の挿入部位の腫れ、痛み、あざなどの一時的な副作用が発生する可能性があります。また、効果は一時的で、通常1年くらいで再度施術が必要となる場合が多いとされています。通常の皮膚切除を行うほどの効果は期待できません。

長期的で劇的な若返り効果を求める場合は、通常のフェイスリフトを選択するべきでしょう。

また、糸リフトの効果を長引かせるためには、定期的なメンテナンスが必要となります。糸リフト手術を検討する場合は、その効果、期間、コストなどを十分に理解したうえで、専門の医師と相談することが重要です。

吸収系による治療

この治療も糸リフト手術に含まれるものの1つで、肌のリフトアップや引き締めを図る非手術的なアンチエイジング治療方法です。

●施術方法

ショートスレッドやショッピングスレッドと呼ばれる、棘とげの付いていない細い吸収糸を皮下に挿入します。糸は時間とともに体内で自然に吸収されますが、その際にコラーゲンの生成を促進し、皮膚のハリや弾力を改善します。

●注意点、リスク

糸の挿入部位において腫れ、赤み、痛みなどが発生することもあります。一定の期間後に糸は体内で吸収されますが、その後もコラーゲン生成の効果は続きます。ただし、持続する期間や効果には個人差があります。治療後は強い摩擦やマッサージを避けることが推奨されます。料金は、クリニックや施術範囲、使用する糸の種類によって異なります。どのような効果を求めているのか、どの範囲で糸を入れるのかなど、事前に十分な相談をすることが重要です。

ボトックス(ボツリヌス)注射

ボツリヌス注射は、顔のアンチエイジング治療として非常に人気のある方法です。

●施術方法

ボツリヌストキシンという神経伝達物質の分泌を阻害する成分を顔に注射することで、表情ジワなどを軽減させる治療法です。主に顔の横シワ(笑顔ジワや眼のまわりのシワ)、額の横シワなどを対象とします。注射を受けると、筋肉の動きが抑制され、シワの形成を防ぐことができます。結果として、肌が滑らかになり若々しい印象を与えることができます。

●注意点、リスク

ボツリヌス注射は一般的に安全ですが、リスクとして、軽度な腫れや内出血、注射部位の違和感が生じることがあります。まれに筋肉の弱体化やアレルギー反応が起こることもあるため、医師とリスクについて十分に話し合しましょう。

注射後の効果は一般的に数カ月から半年程度持続しますが、定期的なメンテナンスが必要となりますのであらかじめこの点も考慮に入れておいてください。

ヒアルロン酸の注入

ヒアルロン酸注入治療も非常に簡単に受けられるアンチエイジング治療として非常に人気の高い非手術的治療法です。

●施術方法

ヒアルロン酸は、私たちの身体にもともと存在する天然の物質です。皮膚のシワやたるみ、くぼみにヒアルロン酸を注入して補填ほてんし、ボリュームを与えることで若々しい顔つきを取り戻します。唇や頬へのボリューム補正、鼻の形状変更など、さまざまな部位の治療に使用されます。

●注意点、リスク

注入材の中では、使用の歴史が比較的長く、

非常に安全とされていますが、まれにアレルギー反応が起こることがありますので、そのことを事前に知ったうえで施術を受ける必要があります。もしアレルギー反応が起きた場合には、その症状に合わせて治療を受けなければなりません。また、その他の副作用として注入部位の腫れ、赤み、青たん(青あざ、皮下出血)や痛みが発生することがあります。ただし、これらは通常、数日以内に自然と改善されます。量や場所を誤って注入すると、不自然な外見になったり、最悪の場合は失明、組織壊死などの重篤な合併症を発症する可能性もあります。

料金はクリニックや施術範囲によって異なるため、事前に確認し、予算内での治療を検討しましょう。また、ヒアルロン酸は体内で時間とともに吸収されるため、維持するには定期的な再注入が必要となることも知っておくべきでしょう。

顔面の脂肪注入

脂肪注入治療は、患者自身の脂肪を採取し、それを顔などの望む部位に注入することで、ボリュームを増やすか、シワやくぼみを改善する治療法です。自身の脂肪を使用するため、ほかの注入材料と比較して拒絶反応のリスクが低いといわれています。

●注意点、リスク

注入部位の腫れ、青たん、感染などが考えられます。注入された脂肪は時間とともに吸収されますが、その吸収の程度は、吸引した脂肪の状態、入れる場所の血流状態などによって変わってきます。そのため、定期的な再注入が必要となる場合もあります。

施術を受ける際の注意点

①まずは医師選びが重要

フェイスリフト手術や糸リフト手術は非常に難易度の高い手術ですので、経験が豊富で、技

術的にも優れた専門医の資格を持つ医師を選んでください。また、簡単に手術を決めるのではなく、納得するまでカウンセリングを受けることが大切です。そのために複数の医師のカウンセリングを受けることもよいと思います。その中から、納得のいく説明をしてくれ、良好なコミュニケーションが取れる医師を選ぶことをお勧めします。

②リスクを理解する

術後の傷跡、感染、その他の合併症などのリスクを十分に理解し、手術のメリットとデメリットを天秤にかけて、自分にとってメリットのほうが明らかに多いと思えないようであれば、施術を受けるべきではありません。

③過度の期待は禁物

施術のできる内容には限度があり、完璧な外見が約束されるものではありません。現実的な結果を期待しましょう。

④アフターケアの重要性を理解する

アフターケアの重要性を理解して実践することが大切です。特にフェイスリフトは手術後の十分な回復期間が必要で、特定のケアや制限事項を守ることで、最適な結果と安全性が確保されます。

最後に

美容医療で扱われているアンチエイジング治療について説明しましたが、すべての治療に共通していえることは、その治療を受けてみたいと思ったら、治療を受ける前に、自分の目的や期待する効果を明確にし、治療のメリット・デメリットやリスクを十分に理解したうえで、施術を受けるかどうかを判断することが大切だということです。そのうえで、その治療を得意とする医師を探し、その医師のもとで十分なカウンセリングを受け、納得して治療を受けるようにしましょう。